

平成29年度 山岳レスキュー講習会（東部地区※1）開催要項

主催 公益社団法人
日本山岳・スポーツクライミング協会
協力 富山県山岳連盟

1. 主旨 無積雪期登山での遭難防止及び遭難事故現場に必要な登山者の救助技術の習得・研鑽を目的とする
2. 期日 平成29年9月8日（金）13:00～9月10日（日）13:00
3. 会場 受付集合・実技会場・机上講習・宿泊場所
〒930-1415 富山県中新川郡立山町芦嶺寺ブナ坂6
独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所
TEL:076-482-1211 FAX:076-481-1534
4. 応募資格および定員
 - 1) 応募資格 一般登山技術 又は クライミング技術をお持ちの方
 - 2) 募集定員 **45名**（経験及び希望に応じてクラス分け致します）
一般登山者、他団体加入の方でも受講できます。
5. コース編成 講師：日山協遭難対策常任委員
 - 縦走・ハイキングレスキューコース（定員15名）
運動生理学、簡易ロープワーク、ピバーク、ファーストエイト等遭難の予防と対応について学習します。
 - ロッククライミングーセルフレスキューAコース（定員10名）
レスキューに必要な個々の技術、ロープワーク、フリクションノット、ラベリング、ローダウ、レザリング等について学習します。
 - ロッククライミングーセルフレスキューBコース（定員10名）
個々の技術を習得している方が、レスキューに関する組み立てと一連の動作について学習します。
 - ロッククライミングーセルフレスキューCコース
複数ピッチルートでの事故を想定した居合わせたグループ（ハイクンダー）によるシミュレーションについて学習します。
 - ワークレスキューコース（定員10名）
救助隊を組織するグループによる岩壁でのレスキュー技術について講習します。
6. 講習日程・内容
別表-1、2に記載（詳細日程は変更になることがあります）
7. 参加申込
 - 1) 申込方法 別紙申込書によりFAXにて申込むこと
 - 2) 申込先（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会事務局（内） 遭難対策委員会
〒150-8056 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育館
FAX 03-3481-2395
 - 3) 申込期間 **平成29年8月1日（火）～28日（月）**
申し込まれた方には8月から1週間ごとに受付可否返信致します。
受付可否返信が着かないときは恐れ入りますが電話にて確認願います。
TEL 03-3481-2396（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会事務局
8. 修了証の授与
この講習会に全日程参加し、修了したと認められた者には修了証を授与する
9. その他留意事項
 - 1) 受講費 10,000円（2泊宿泊代、11日夕食より13日朝食まで5食、教材費、消費税含む）
※今回の宿舎は一部セルフサービスとなっておりますのでご協力願います
 - 2) 受講費払込
郵便振替口座 00110-5-546693
加入者名：（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会 に振込みのこと
 - 3) 参加取消し 9月6日以降参加取消しは5,000円返金
 - 4) その他の費用 会場までの交通費は、受講者の負担と致します
 - 5) 保険 主催者にて傷害保険に加入します。
 - 6) 講習会持参用具 別表-3に記載
 - 7) ※1 本事業は東部地区対象事業ですが、本年度は西部地区の方も参加できます。
 - 8) この事業はスポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています。

平成29年度 山岳レスキュー講習会（無雪期・東部地区）開催要項（予告）

別表-1 講習日程 (※ 日程は、天候・講習内容等の都合により変更する場合があります。)

日程	時間	行動予定			
		項目	縦走・ハイキング	セルフ	ワーク
9/8 (金)	12:30 ~ 13:00	受付開始 (研修所)			
	13:00 ~ 13:30	開講式、リエンテーション			
	13:30 ~ 14:00	全体講習 (室内)	【H28山岳遭難事故・登山のリスク管理】		
	14:10 ~ 17:00	各クラス講習	室内	室内・屋外	室内・屋外
	17:00 ~ 18:00	入浴			
	18:00 ~ 19:00	夕食			
	19:00 ~ 20:30	各クラス講習 (室内)	室内	室内	室内
9/9 (土)	7:00 ~ 8:00	朝食			
	8:00 ~ 12:00	各クラス講習	室内	屋外	屋外
	12:00 ~ 13:00	昼食 (弁当)			
	13:00 ~ 17:00	各クラス講習	屋外	屋外	屋外
	17:00 ~ 18:00	入浴			
	18:00 ~ 19:00	夕食			
	19:00 ~	情報交換会			
9/10 (日)	7:00 ~ 8:00	朝食			
	8:00 ~ 12:00	各クラス講習	屋外	屋外	屋外
	12:00 ~ 12:30	各クラス片付け・反省会			
	12:30 ~ 13:00	閉講式 (研修所)			

別表-2 講習内容

縦走・ハイキングレスキューコース	セルフレスキューA・B・Cコース	ワークレスキューコース
①平成28年山岳遭難事故 ②登山とリスク管理 ③山での応急手当 ④事故事例研究 ⑤応急手当 (実技) ⑥事故を予防する装備と行動 ⑦事故を予防する運動生理学 ⑧道迷いについて ⑨補助ロープを使った安全確保 ⑩ビバーク、搬送法 ⑪シミュレーション	①平成28年山岳遭難事故(A B C) ②事故事例研究(A B C) ③仮固定と自己脱出(A B C) ④ローダウンレスキュー(C) ⑤レイジングレスキュー(C) ⑥トップの救助とセカンドの救助 (B C) ⑦搬送法 (A B C) ⑧シミュレーション (A B C)	①平成28年山岳遭難事故 ②事故事例研究 ③チームレスキューの留意点 ④アンカーの設置 ⑤吊り下げレスキュー ⑥引き上げレスキュー ⑦現場への侵入経路 ⑧梱包法・搬送法 ⑨シミュレーション

別表-3 講習会持参品 ◎：必須用具 ○：あれば持参するもの

※講習内容により使用しない場合もあります

品名	縦走・ハイキング	クライミング 両クラス共	主催者
筆記用具	◎	◎	
救急用品 (三角巾、テーピングテープ (38mm幅)、包帯)	◎	◎	◎
雨具、防寒具	◎	◎	
ストック	○	◎	◎
ツェルト (又はフライシート等)	○	○	◎
帽子	◎	◎	
ヘルメット		◎	
ハーネス		◎	
グローブ、ナイフ		◎	
カラビナ (安全環付き含む)	○ (3枚)	◎※	◎
スリング (60cm~120cm)	○ (3本)	◎※	◎
下降器具、確保器具、デージーチェーン (PAS)		◎	◎
アッセンダー、プーリー ※ワークはアッセンダ必携のこと		○※	◎
クライミングロープ (Φ8.5mm以上×40m以上)			◎
補助ロープ (Φ6mm以上×10m位)	○		◎
その他山行で良く使う装備及び登攀具	○	○	

※各10枚程度ですが、新たに買う必要はなく、持っているものだけでOKです。

※主催者側で用意する装備についても、お持ちの方はなるべくご自分の装備を持参頂き使い方を習得しましょう。